滝山トンネルニュース Vol.3

平成26年12月3日

発 注 者	鳥取県　鳥取県土整備事務所
受 注 者	安藤ハザマ・大晃工業特定建設工事共同企業体
工　　期	H25．12．20 ～ H27．5．13

～トンネルが貫通しました!!～

滝山トンネルは街路滝山桜谷線の一部として建設されるトンネルで全長は３１１ｍです。

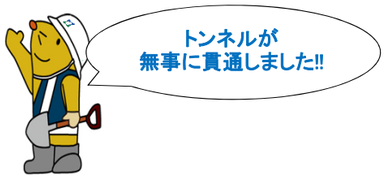
６月末より岩倉側よりトンネル掘削を開始、８月２１日から２４時間の施工体制で施工を進めてまいりましたが、事故やトラブルも無く、１２月１日１０時１２分に、地元住民の皆様、鳥取県の皆様、工事関係者、総勢１４０名が見守る中、無事に貫通いたしました。法面から掘削機械の頭がのぞくと、同時に大きな声で万歳三唱が響き渡り、非常に感動的な瞬間でした。

これもひとえに付近にお住まいの方々のご理解、ご協力あってのことと関係者一同感謝しております。完成に向けてまだまだ工事は続きますが、今後も安全確保、環境保全に万全を期していく所存です。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

地元住民の皆様が見守る中貫通した瞬間（滝山側）
このあと万歳三唱が響き渡りました。

トンネルが貫通した瞬間です（坑内より）

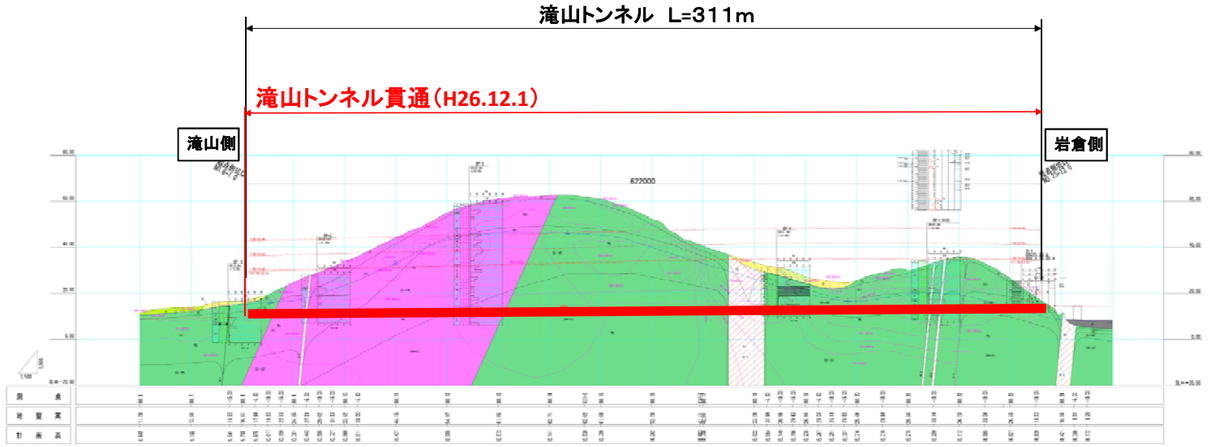
貫通翌日の様子です。坑口を強固に固めています。



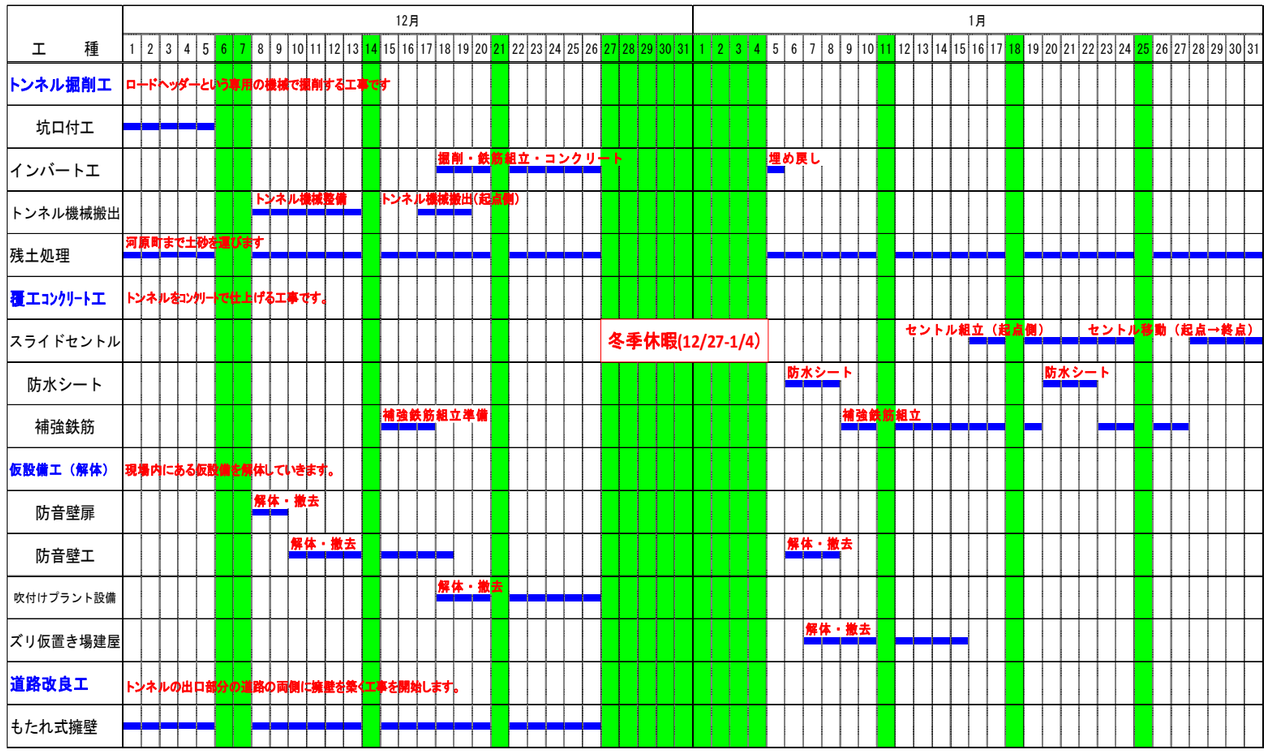
貫通石

貫通石
「安産の石の由来」
その昔、神功皇后三韓征伐の砌、彼の地に於いて敵を攻めあぐみ、ふと間道に洞あり、三日三夜不眠の甲斐ありて洞を貫き、敵の背より攻め大勝を得たという。その記念にと貫通点の石を持ち帰りて角鹿の地に上陸、御自ら産気づき記念の石を枕辺にはべりたるところ、すこぶる安からにして男子出産し給う。
これにより隧道貫通点の石を安産の石と称し珍重されております。
また「難関突破・初志貫徹」の意味から、合格祈願の守護石としても珍重されています。

【工事進捗図】



【12月、1月の工事工程】



12月1日に無事にトンネルは貫通しましたが、引き続き岩倉側および滝山側からコンクリート工事等の残工事を進めていきます。
また、24時間体制での掘削作業が終了いたしましたので、岩倉側では夜間騒音・振動を低減する防音設備や掘削作業に使用した仮設備等の解体・撤去も同時に進めてまいります。